

優秀賞

D3-1 チームは、AIにおける新たな品質特性である公平性に関する取り組みを行いました。AIにおける公平性、つまりAIが行う判断において性別や人種に関するバイアスがないことは、欧州の倫理ガイドラインを皮切りに数年前から強く要請されています。一方で、技術的に対応するための具体的なツールは、この1、2年で揃ってきたという状況です。エンジニアとしては、プロダクトオーナーとともに、公平性の重要性を理解し、手続きの公平性と結果の公平性といった異なる基準を理解しつつ、多様なバイアス緩和技術の活用を行うことを求められます。本グループでは、3つの代表的なツールの試用調査を通して、複数の公平性指標の存在に起因する課題を明確にした上で、その課題を踏まえた初心者向けのガイドラインを作成しました。具体的なケーススタディも実施し、その結果をガイドラインに含めて提示しており、プロダクトオーナーとエンジニア双方の助けとなるガイドラインとなっています。AIの公平性という新しい重要な課題について、利用可能になったばかりのツールの調査試行にとどまらず、ガイドラインまでまとめ上げた取り組みであり、その先端性・実用性が高く評価されました。

以上を高く評価して優秀賞を与えることとします。

国立情報学研究所 GRACE センター長・特任教授

本位田真一